

目 次

A. この時計の特長	4
B. 各部の名称	5
C. アナログ・時刻の合わせ方	6
D. モードの種類と切り替え (デジタル部)	7
E. 各モードの共通項目	8
F. 各モードのセット・使用方法	9
1. 通常時刻モード (デジタル表示)	9
2. フライトモード (FLT)	13
a. フライトクロノ/着陸タイミングクロノ	13
b. フライト積算回数/フライト積算時間	16
c. フライト積算回数/フライト積算時間の修正	19
3. アラームモード (ALM)	21
4. クロノグラフ (ストップウォッチ) モード (CHR)	23
5. タイマーモード (TMR)	26
6. ローカルタイムモード (L-TM)	28

G. オールリセット操作	30
H. サウンドモニター	31
I. 製品仕様	32
J. 取扱い上のご注意	34
K. 保証とアフターサービスについて	42
L. シチズンサービスセンター所在地	45

A. この時計の特長

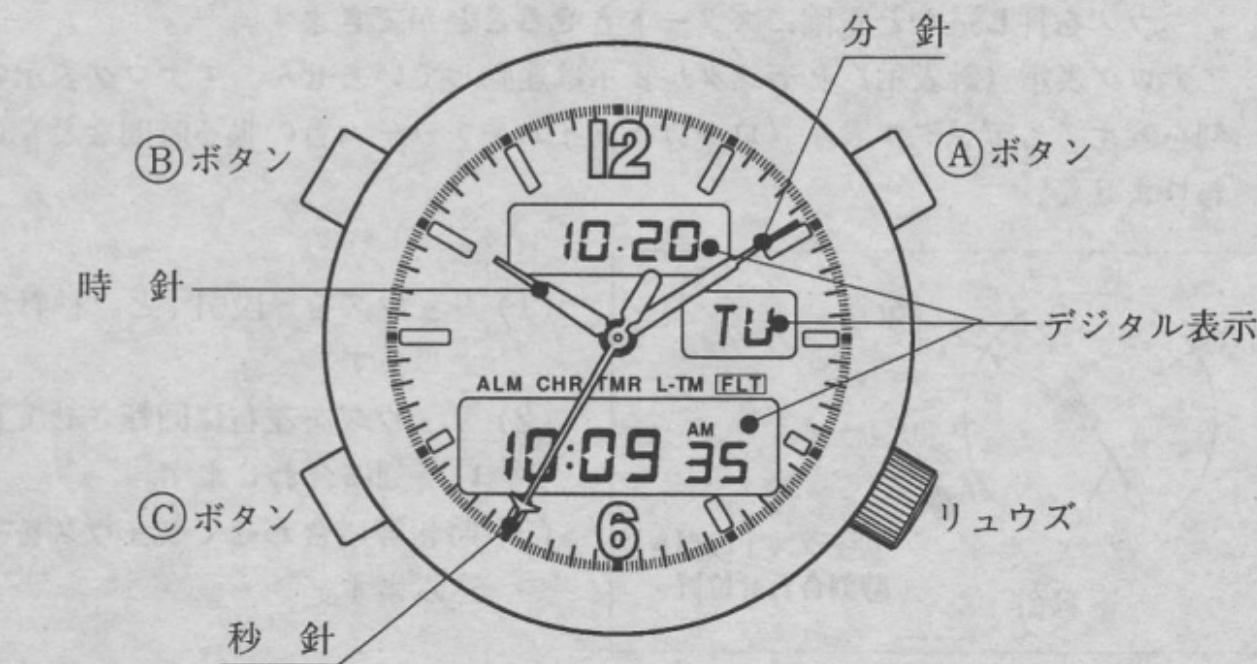
この時計は、クロノグラフ計測の回数や時間の積算合計（月間／総合計）が記録できる便利な機能が付いています。飛行機のパイロットを始め、スカイスポーツのフライト積算回数や積算時間の記録にご利用ください。

この時計には、他にも次のような機能が付いています。

- ・アナログ表示部：時、分、秒
- ・デジタル表示部：時刻／カレンダー
 - フライトモード
 - アラーム
 - クロノグラフ（ストップウォッチ）
 - タイマー
 - ローカルタイム

B. 各部の名称

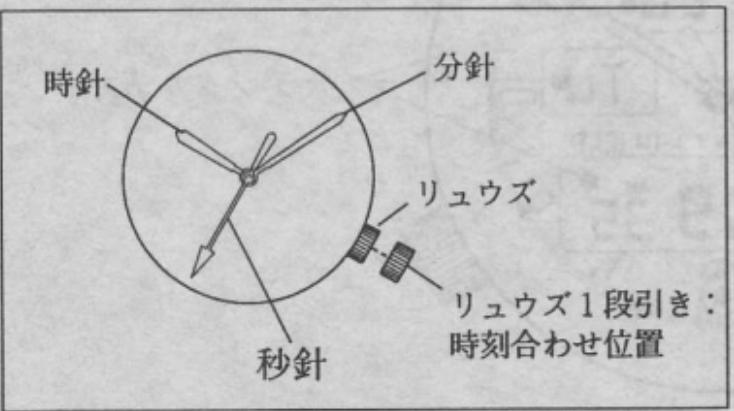
このイラストは、時刻、カレンダーを表示しています。



C. アナログ・時刻の合わせ方――

ポイント：分針を4～5分進めてから正しい時刻まで戻した後、時報等に合わせてリュウズを押し込むと正確にスタートさせることができます。

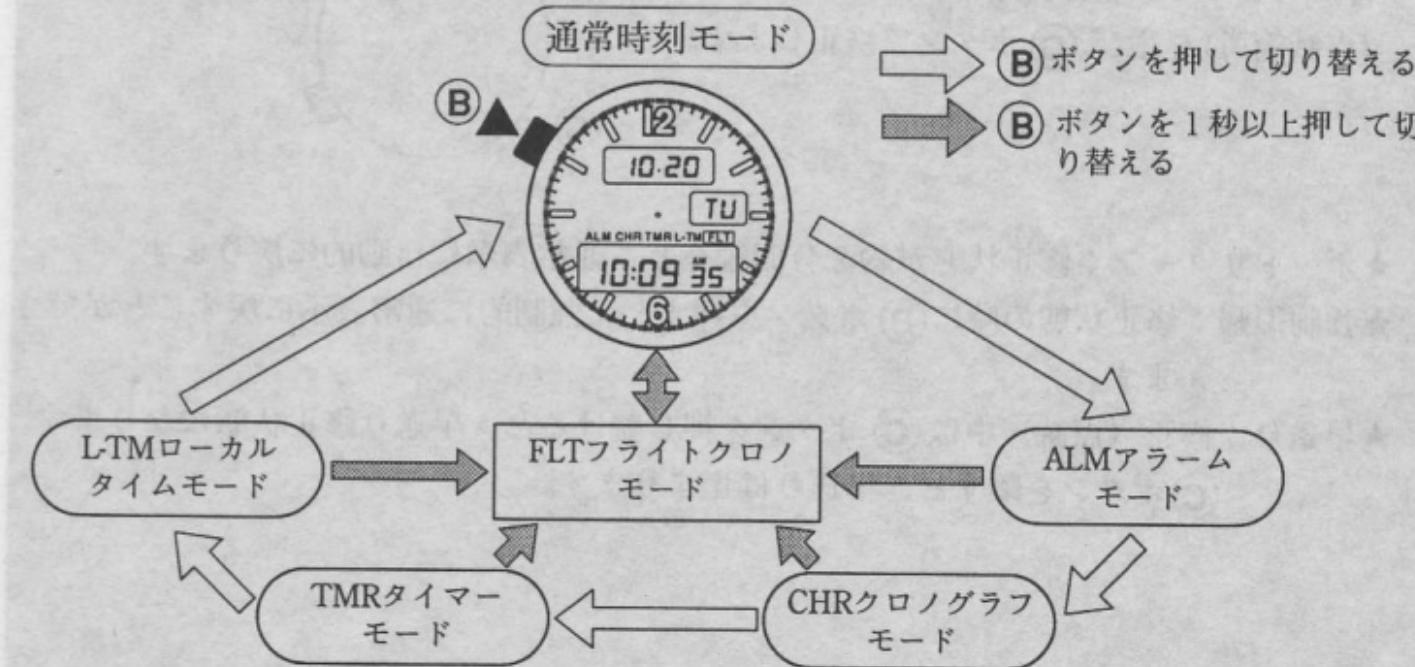
注意：アナログ表示（針表示）とデジタル表示は連動していません。アナログ表示の時刻を変えてデジタル表示（ローカルタイムやアラーム音の鳴る時間など）は変わりません。



- (1) リュウズを一段引くと、秒針が停止します。
- (2) リュウズを左右に回転させて正しい時刻に合わせます。
- (3) 時報等に合わせてリュウズを押し込みます。

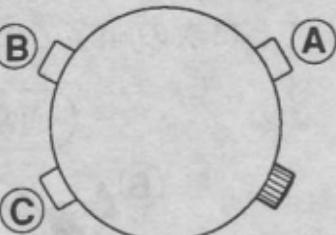
D. モードの種類と切り替え(デジタル部)――

②ボタンを押すごとに次の順序でモードが切り替わります。



E. 各モードの共通項目

- 各モードでの修正は、**A**ボタンで修正箇所（点滅箇所）を選び、**C**ボタンで修正します。



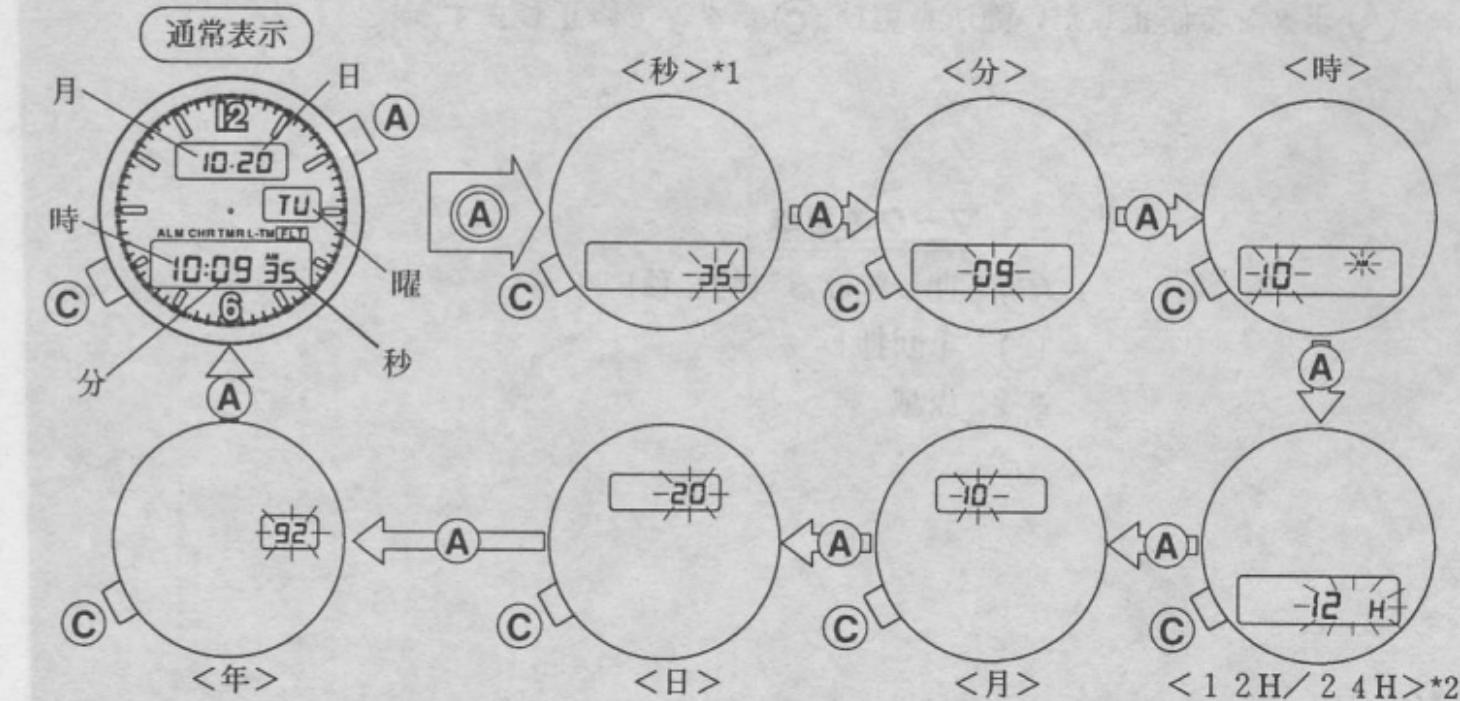
★オートリターン：修正状態が約2分間続くと、通常表示に自動的に戻ります。

★強制復帰：修正状態の時に**B**ボタンを押すと、強制的に通常表示に戻すことができます。

★早送り：修正（点滅）中に**C**ボタンを押し続けると、早送り修正状態になります。
Cボタンを離すと、早送りは止まります。

F. 各モードのセット・使用方法

1. 通常時刻モード（デジタル表示）



a. 時刻、カレンダーの合わせ方

- ・時刻、カレンダーの修正は、ⒶボタンとⒸボタンで行ないます。
Ⓐボタンで修正したい箇所を選び、Ⓒボタンで修正します。

マークの意味

◎：押し続ける（約2秒）

○：1回押し

△△△：点滅

(1) 時刻、カレンダーを修正する時は、時刻、カレンダーが通常表示であることを確認します。

通常表示でない時は、まず、Ⓐボタンを押して時刻、カレンダー・モードの通常表示にしてください。

(2) 次に、Ⓐボタンを押し続けると秒が点滅します。Ⓐボタンを1回押すごとに修正（点滅）箇所が移動しますので、必要な箇所を選んでⒸボタンで修正をしてください。

b. 備考

* 1秒帰零：秒が修正状態の時、Ⓒボタンを押すと0秒になります。30秒以上の時は、1分進みます。

* 2 12H／24切り替え：Ⓒボタンを押すごとに12時間制と24時間制が交互に切り替わります。A（午前）／P（午後）表示は12時間制の時のみです。24時間制の時は表示しません。

ローカルタイムと連動：

時刻はローカルタイム・モードの時刻と連動していますので時刻、カレンダー・モードで修正した時間だけ、自動的にローカルタイム・モードの時刻も修正されます。ただし、ローカルタイムを修正しても、時刻、カレンダー・モードの時刻は変わりません。

【例】

モード→通常時刻

修正前の時間→10:09

修正

ローカルタイム L-TM

8:09

自動的に修正されます

修正後の時間→12:09

10:09

・オートカレンダー：1992年から2007年の間は、月末に修正する必要はありません。

自動的に翌月のカレンダーに切り替わります。

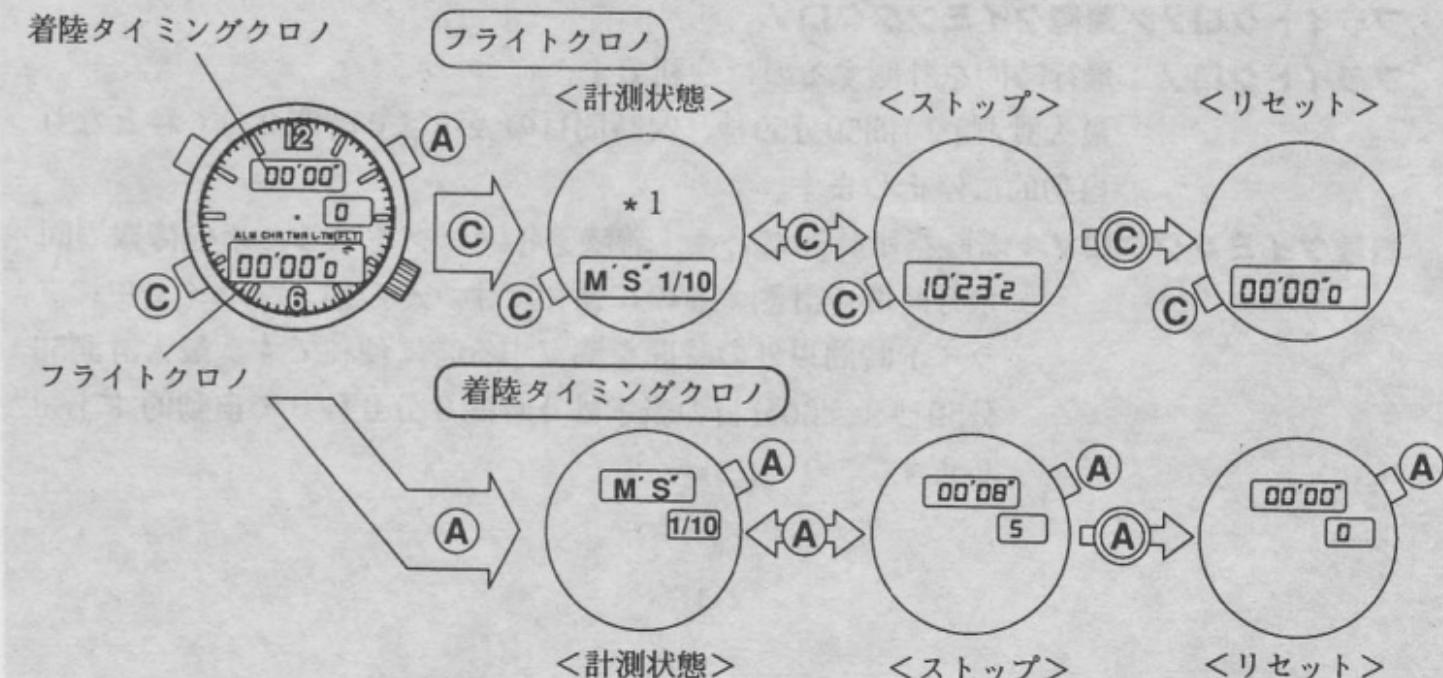
・非存日自動修正：カレンダーを間違えて実際には無い日にセットした時は、通常表示した時、自動的に翌月の1日を表示します。

(例：2月30日（非存日）→3月1日)

・曜表示：曜は、年、月、日をセットすることにより、自動的に表示します。

2. フライトモード (FLT)

a. フライトクロノ/着陸タイミングクロノ



* 1 計測が60分未満までの時は分・秒・1/10秒を表示し、60分以上になると、時・分・秒の表示に切り替わります。

・フライトクロノ／着陸タイミングクロノ

フライトクロノ：飛行時間を計測するのに便利です。

最大計測23時間59分59秒、24時間目の表示は0時間0分0秒となり自動的に停止します。

着陸タイミングクロノ：着陸指示時間に合う、着陸タイミングを取るための待機周回飛行時間を計測するのに便利です。その他、フライト中にフライト時間以外の時間を測定する時に便利です。最大計測59分59秒9、60分目の表示は0時間0分0秒0で自動的に停止します。

・操作方法

フライトクロノのスタート、ストップは**(C)**ボタンを押して行ないます。リセットをする時は、フライトクロノストップ後に、**(C)**ボタンを2秒以上押します。

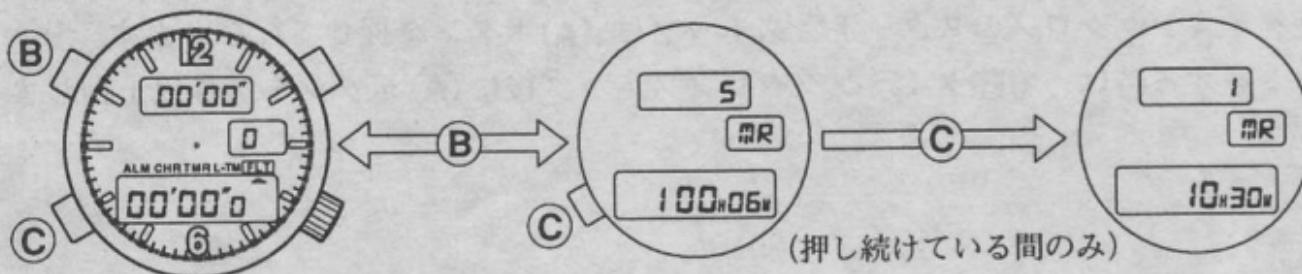
着陸タイミングクロノのスタート、ストップは、**(A)**ボタンを押して行ないます。リセットをする時は、着陸タイミングクロノストップ後に**(A)**ボタンを2秒以上押します。

b. フライト積算回数／フライト積算時間

フライトクロノ／
着陸タイミングクロノ表示

フライト積算回数／
フライト積算時間表示

今月のフライト積算回数／
フライト積算時間表示



・フライトクロノ／着陸タイミングクロノの表示から**(B)**ボタンを1回押すと、フライト積算回数／フライト積算時間の表示に変わります。

この表示はそれまでにフライトクロノを使用した回数の総合計と、計測時間の総合計です。すなわち、パイロットの総飛行回数と総飛行時間となるわけです。

このフライト積算回数／フライト積算時間表示中、**(C)**ボタンを押している間だけ、今度は今月のフライト積算回数／フライト積算時間を表示することができます。

- ・フライト積算回数は最大9999回です。10,000回目は0表示となります。フライト積算時間は最大9999時間59分です。10,000時間目は、0時間0分表示に戻り、引き続き積算を継続します。
- ・次の場合、今月のフライト積算回数／フライト積算時間は、リセットされ、共に0回の0時間0分から積算を開始します。
 - (1) 月が変わってしまった場合
 - (2) 通常時刻モードで、月及び年修正を行なった場合
 - (3) 月をまたいでフライトを行なった場合
 - (4) フライト積算回数／フライト積算時間の修正を行なった場合

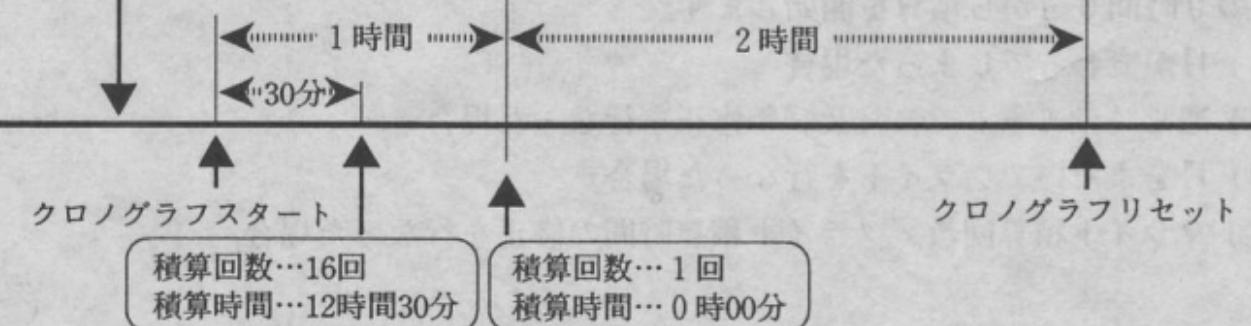
<例>

11月30日

積算回数…15回
積算時間…12時間00分

12月1日

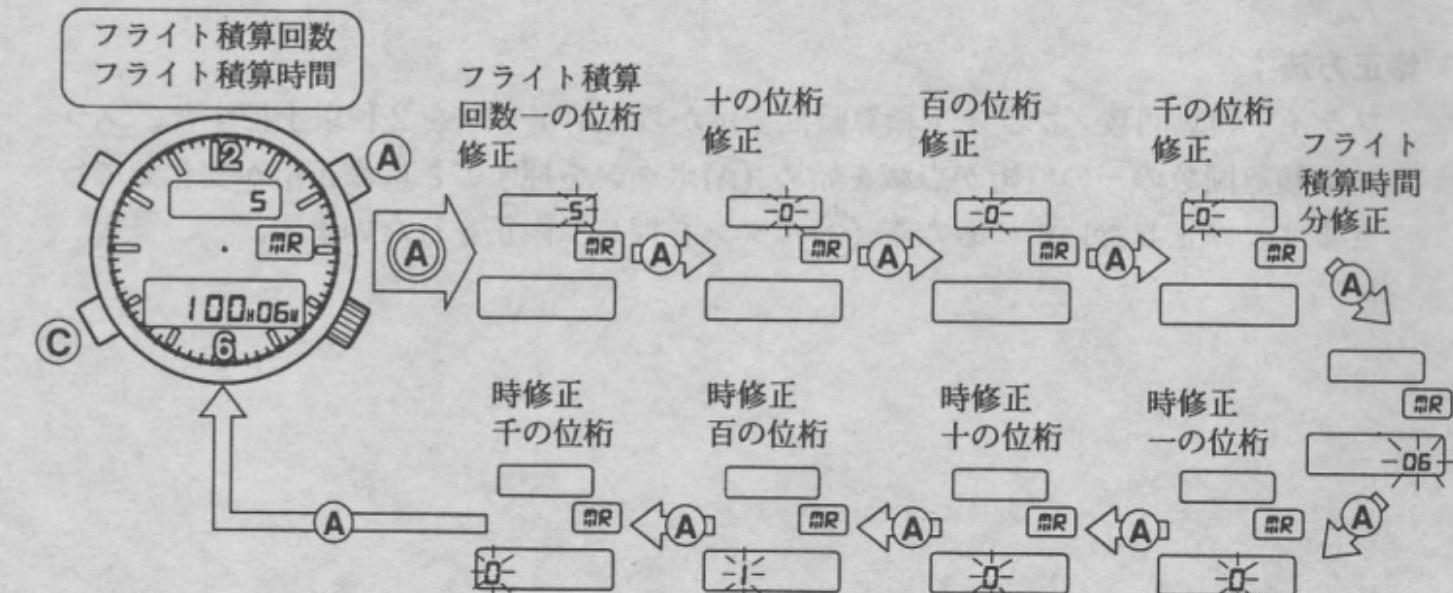
積算回数…1回
積算時間…2時間00分



※フライトクロノ計測中にフライト積算回数／フライト積算時間表示に切り替えると
“H”と“M”が点滅します。

c. フライト積算回数／フライト積算時間の修正

電池交換により、データが消えてしまった時や誤操作で計測を間違えてしまった時などに行ないます。



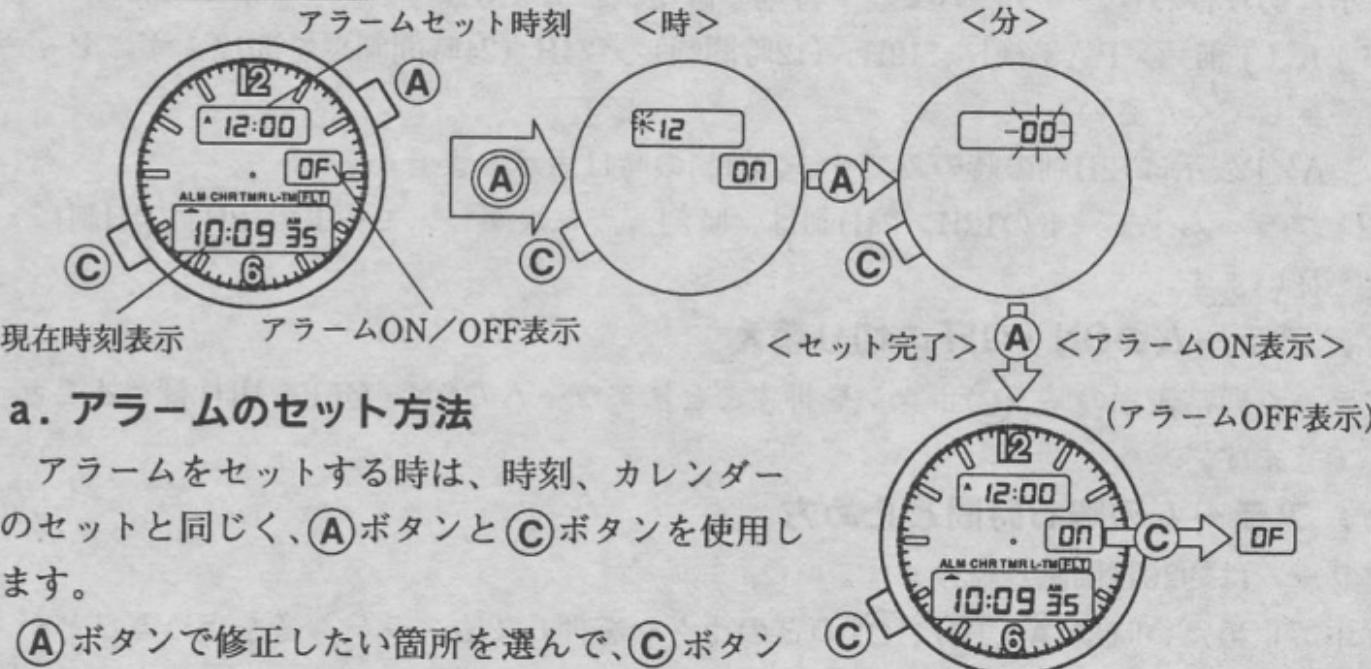
※総飛行回数／総飛行時間を示すフライト積算回数／フライト積算時間は、修正することができます。ただし、今月のフライト積算回数／フライト積算時間は、修正できません。修正操作はフライトクロノがリセット状態になつていないと行なえません。

修正方法：

- ・フライト積算回数／フライト積算時間表示から、Ⓐボタンを2秒以上押すと、フライト積算回数の一の位桁が点滅を始め、Ⓐボタンを押すごとに修正桁が変化して行きます。修正したい桁にきたら、Ⓒボタンを押して修正を行ないます。

3. アラームモード (ALM)

アラーム通常表示



a. アラームのセット方法

アラームをセットする時は、時刻、カレンダーのセットと同じく、ⒶボタンとⒸボタンを使用します。

Ⓐボタンで修正したい箇所を選んで、Ⓒボタンでアラームを鳴らしたい時刻にセットします。

※アラームをセットする時は、アラーム通常表示がアラームOFF表示であっても、時刻を修正するためにⒶボタンを約2秒以上押し続けると、自動的にアラームON表示に切り替わり、アラームセット時刻の修正状態になります。

- (1) A(午前) / P(午後)、12H(12時間制) / 24H(24時間制)を間違えずにセットしてください。

A/P表示は12H制の時のみです。24H制の時は表示しません。

- (2) アラーム・モードの12H／24H制は、時刻、カレンダー・モードの12H／24H制に従います。

b. アラームのON・OFFの切り替え

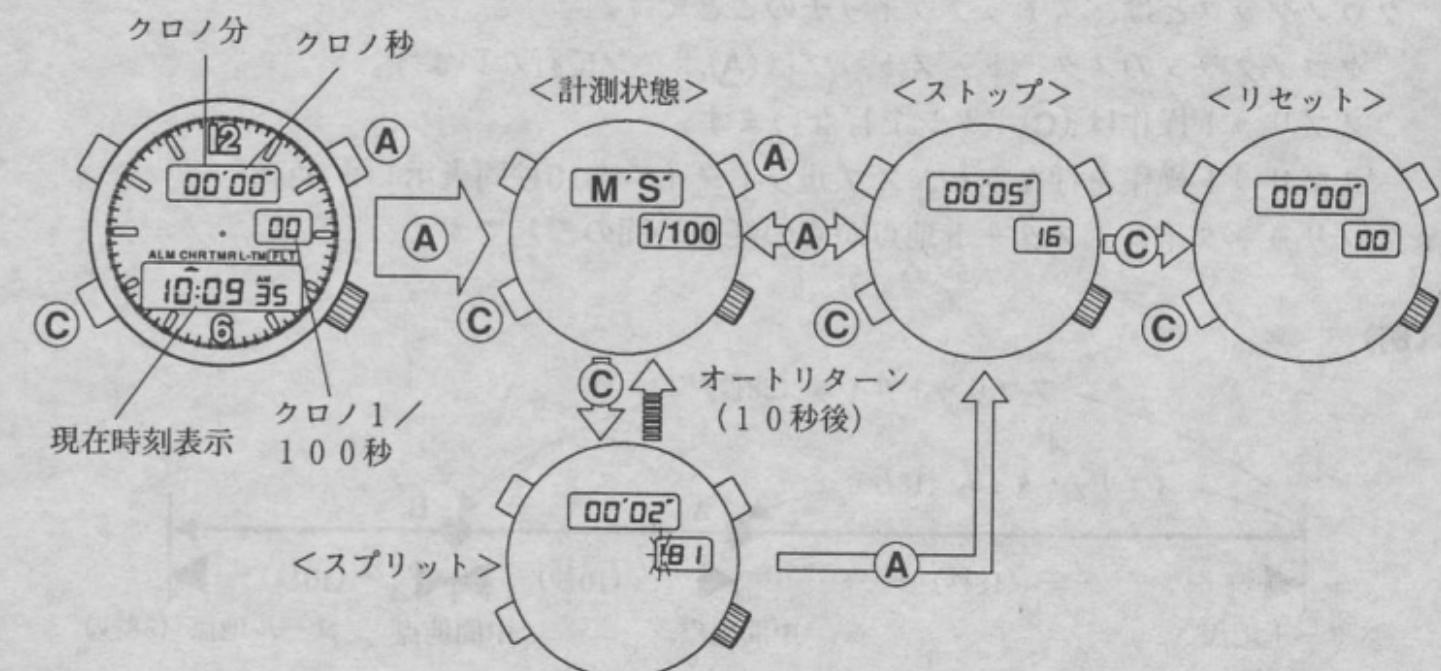
アラーム通常表示の時、④ボタンを押すごとにアラームのON・OFFを切り替えることができます。

c. アラームの鳴る時間と止め方

アラームは約20秒間鳴り続けます。

途中で止みたい時はⒶ、Ⓑ、Ⓒのどのボタンを押してもアラーム音を止めることができます。

4. クロノグラフ (ストップウォッチ) モード (CHR) —————



・クロノグラフの使い方

クロノグラフとは、ストップウォッチのことです。

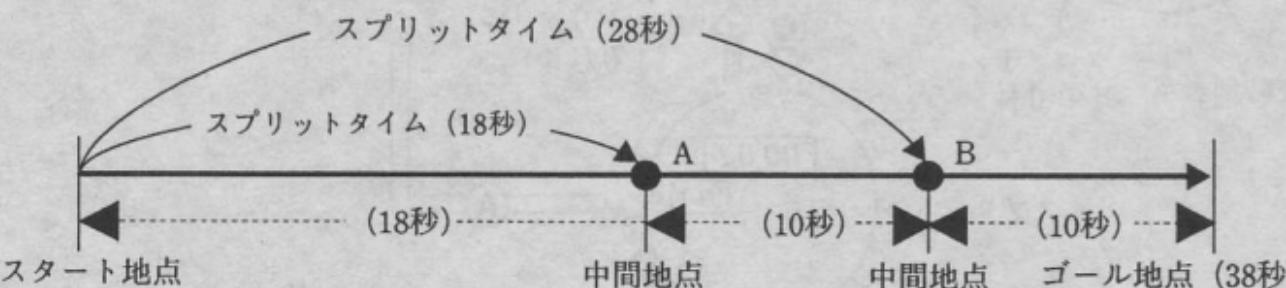
クロノグラフのスタート・ストップはⒶボタンで行ないます。

スプリット操作は、Ⓒボタンで行ないます。

スプリット操作を行なうと、スプリットタイムを10秒間表示します。

★スプリットタイム：スタート地点からの経過時間のことです。

(例)



※クロノグラフの計測できる時間の範囲は、23時間59分59秒までです。24時間を越えると、0時間0分0秒で停止します。

クロノ計測・60分未満の時は、

分'秒"

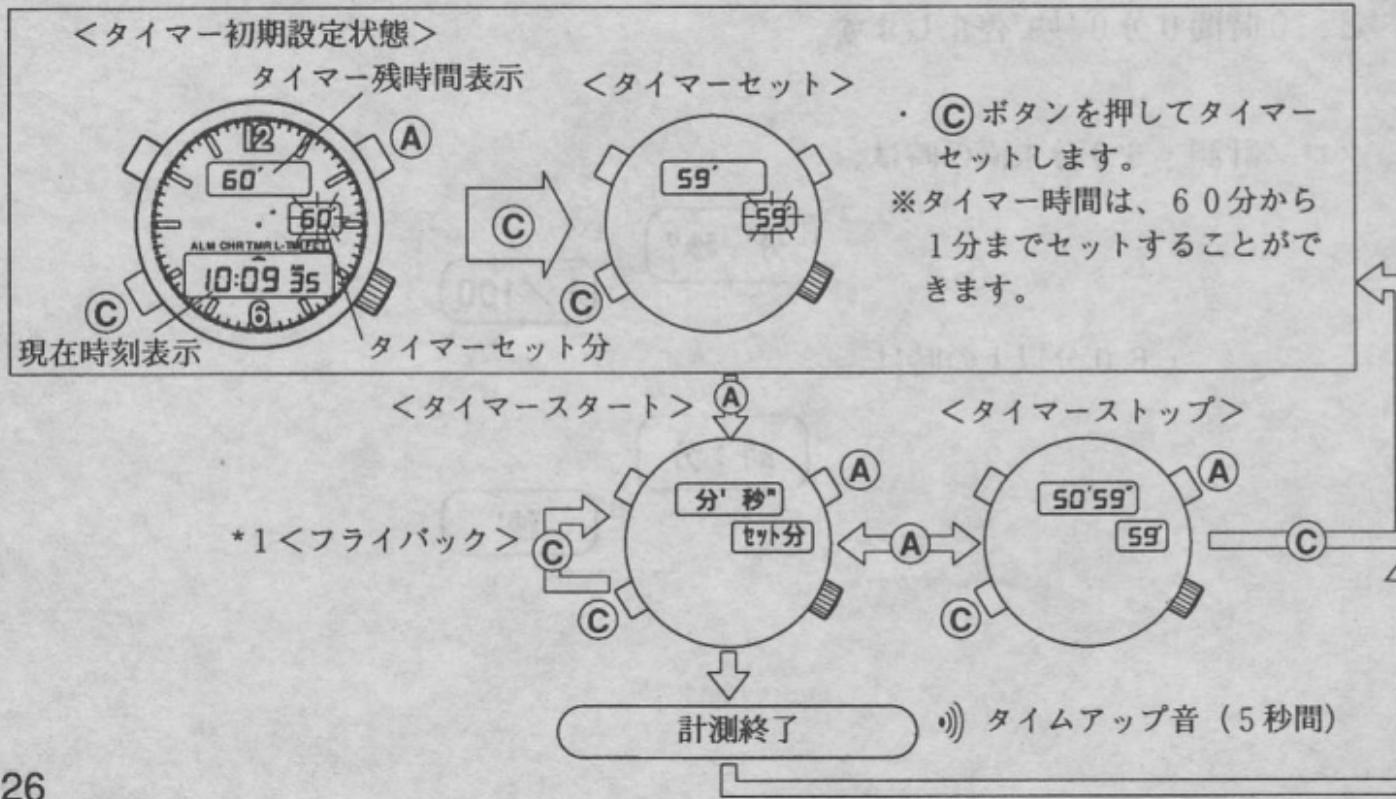
1/100

・60分以上の時は、

時:分

秒"

5. タイマーモード (TMR)

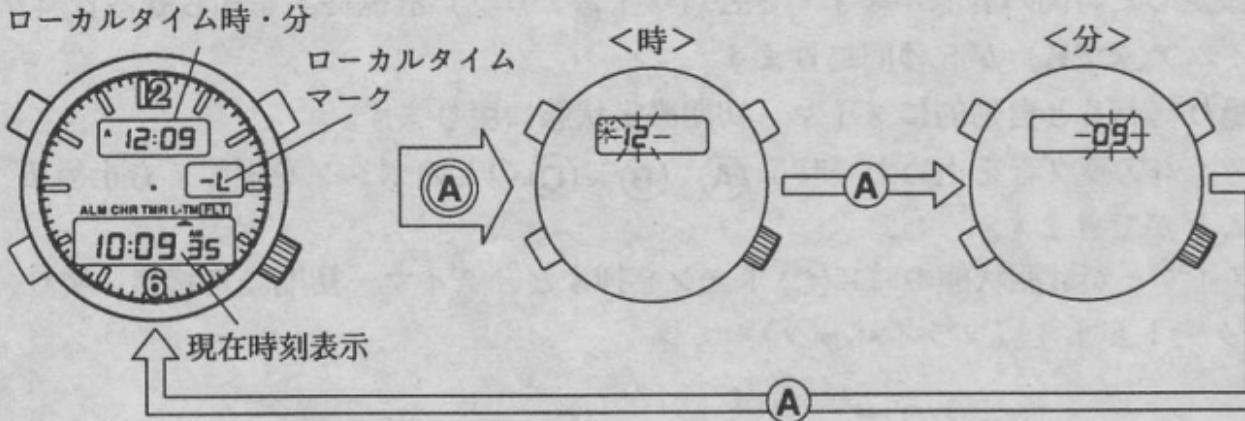


・タイマーの操作方法

- (1) スタート、ストップはⒶボタンで行ないます。
 - (2) 設定した時間の計測が終了すると（タイムアップ）計測終了を知らせる音（タイムアップ音）が5秒間鳴ります。
鳴り終わると自動的にタイマー初期設定状態に戻ります。
 - (3) タイムアップ音を止めたい時はⒶ、Ⓑ、Ⓒのどのボタンを押しても止める
ことができます。

1 (4) タイマーが計測状態の時にⒸボタンを押すと、タイマー初期設定状態に戻り、再スタートします（フライバック）

6. ローカルタイムモード(L-TM)



- 通常時刻モードで現在時刻を表示するのに対し、ローカルタイム・モードでは、時差のあるもう一方の地域の時刻を表示させることができます。
海外旅行や海外へ出張する時などに便利です。
- ローカルタイムのセットは時と分だけです。

備考：

- ローカルタイムの<分>修正は、時差をセットしやすいように30分単位の修正です。
- 通常時刻モードで時刻修正を行なうと、ローカルタイムの時・分も同時に自動修正されます。ただし、ローカルタイムの時刻を修正しても通常時刻モードの時刻は、自動修正されません。

G. オールリセット操作

・オールリセット操作

オールリセット操作は、電池交換後、又は、時計が異常表示をした時に次の手順で行なってください。

〈デジタル部全点灯状態〉



- (1) リュウズを1段引きます。
- (2) **A**、**B**、**C**の3つのボタンを同時に押します。
- (3) **A**、**B**、**C**ボタンを離します。この時、デジタル部は全点灯状態になります。
- (4) リュウズを押し込みます。この時、オールリセット完了を知らせる確認音が鳴ります。これでオールリセット操作は完了です。時計を正しくセットし直してください。

H. サウンドモニター

次の操作をするとアラーム音を確認することができます。

- (1) **B**ボタンを押して、アラームモードにします。
- (2) **C**ボタンを押し続けている間、アラーム音を聞くことが出来ます。離せば鳴り止みます。（ただし、この操作をすると、同時にアラームON/OFFも切り替わりますので、ご注意ください。）

1. 製品仕様

型式：コンビネーションクオーツウォッチ

精度：月差±20秒以内（常温5°C～35°Cにおいて）

表示／機能：

アナログ表示：時刻～時・分・秒

デジタル表示：時刻～時・分・秒

カレンダー～月・日・曜（修正時のみ、年を表示）

アラーム～時・分、ON/OFF

クロノグラフ～時・分・秒・1/100、24時間計

タイマー～設定時間60分、最小セット単位1分

ローカルタイム～時・分（Lマーク表示）

フライトモード～フライトクロノ、分・秒・1/10～時・分・秒 24時間計

着陸タイミングクロノ、分・秒・1/10 60分計

1. フライト積算回数／フライト積算時間モード～9999回9999時間59分

2. 今月のフライト積算回数／フライト積算時間モード～9999回999時間59分

※ 1. データのみ修正可能

使用電池：280-44 (SR927W)

電池寿命：新しい電池と交換後、約2年

注：電池寿命は、アラームの使用時間やクロノグラフの使用時間などにより異なります。

（仕様は、改良の為予告なく変更することがあります。）

J. 取扱い上のご注意

1. 防水性について（お確かめください）

	裏 ぶ た	文 字 板
非 防 水	_____	_____
日 常 生 活 用 防 水		_____
日 常 生 活 用 強 化 防 水 (5 気圧防水) 10 気圧防水	 この文字が表示されています。	 WATER RESIST ※※※

*日常生活用強化防水（5気圧防水、10気圧防水）の場合、文字板にWATER RESIST
※※※と表示してあります。（一部デザイン上の都合で文字板上に表示のないもの
もあります）

*5気圧防水——5bar

*10気圧防水——10bar

と表示されています。

※リュウズは常に
押し込んでご使
用ください。

					
洗顔や雨など により一時的 にかかる水滴。 水上スキーなど。	水仕事・水泳・ 洗車・ヨット・ 水上スキーなど。	スキンダイビ ング (素もぐ りなどの潜水)	スキューバダ イビング (ボ ンベを用いる 潜水)	水滴がついた 状態でのボタ ンの操作。	
非 防 水	×	×	×	×	×
日常生活用防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化 防水 (5気圧)	○	○	×	×	×
日常生活用強化 防水 (10気圧)	○	○	○	×	×

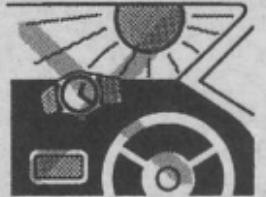
海で泳いだ後には

- ・時計は真水でよく洗い、海水
などによるサビがでないよう
にしてください。
- ・洗ったあとはよく拭いてくだ
さい。



時計の内部にも多少の湿気がありますので、外
気が時計内部の温度よりも低い時にはガラス面
が曇る場合があります。曇りが一時的な場合に
は内部に支障はありませんが、長時間消えない
場合はお買い上げ店、又はシチズン取扱い店に
ご相談ください。

2. 温度について



直射日光にさらしたり、高温になる所に長く置かないでください。
*故障の原因になり電池寿命が短くなります。



寒い所に長く置かないでください。
*多少遅れが生ずるこ
とがありますが腕につければもとの精度にもどります。

床面へ落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

3. ショックについて



ゴルフやキャッチボール程度のショックでは影響を受けません。



床面へ落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

4. 磁気について



テレビ・ステレオなど家庭用電気製品による影響はありません。



磁石には近づけないでください。
磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・電動マージャン台等、磁気に近づけますと一時的に進み遅れがあります。この場合は時刻修正をしてください。

5. 化学薬品・ガス・水銀について



化学薬品・ガスの中でのご使用はおさけください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・トイレ用洗剤・接着剤等）が時計に付着しますと変色、溶解、ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また体温計等に使用されている水銀に触れたりしますとケース・文字板・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

6. 偏光メガネについて

スキー用ゴーグル、釣り用サングラスなどの偏光メガネにより、表示が見えにくくなることがあります。

この時は、時計の角度を変えれば正常に見ることができます。

7.革バンドについて

防水機能を有した時計で革バンド付きの時計は、取扱いにご注意ください。水の中で使う事が多い場合は、脱色、接着はがれなどの不具合を起こす場合がありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製又はゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。

8.時計は清潔に

- ケース・ガラスについての汚れや水分は柔らかい布で拭きとってください。
- バンド肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れをそのままにしておきますと体質上皮膚の弱い方はかぶれる場合もあります。その状態での使用はすぐに中止してください。
- 又、ワイシャツなどの衣類の袖口を鉄サビによるシミで汚すことがありますので、サビの原因になる汗や埃などの気づかぬ汚れに対してもご注意の上常に清潔にしてご使用ください。
- バンドは多少余裕をもたせ通気性を良くしてご使用ください。
(指一本入る位が適当です。)
- 時々汚れを取りご使用ください。
ご使用の間には、ケースとリュウズの間にゴミや汚れが付着して、リュウズが引き出しにくくなることがあります。リュウズが押し込まれた状態で時々リュウズを空回りさせてください。

＜金属バンド＞

石けん水等をつけた歯ブラシで部分洗いしてください。

＜革バンド＞

表側は柔かい乾いた布で軽く拭き取り裏側はアルコールでしめした布で汚れを取ってください。

＜プラスチックバンド／ゴムバンド＞

水で汚れを洗い落してください。

(溶剤類の使用は、変質の恐れがありますので避けてください。)